

1級舗装施工管理技術者 解答試案

〔一般試験〕

問	解答	ポイント解説
1	1	路床で35~45cm、路床で25~30cm以下
2	3	内部振動機を用いることを原則とする
3	4	高さは70~80cmを標準とする
4	2	ブルドーザによる締固めが適している
5	1	壺肥と輪肥の説明が逆である
6	2	この場合は、発注者が損害を負担する
7	2	必要な措置をとることを請求できる
8	3	記述は線形決定の説明である
9	1	路床の中央部より深い箇所から採取
10	4	供用できなくなるまでの期間と同一でない
11	3	道路管理者費用を含め、3つに大別
12	4	排水機能層の厚さも構造計算を含む
13	2	寒冷期においても施工性が確保できる
14	1	(2)回収ダスト (3)スクリーニングス (4)製鋼スラグ
15	1	記述はカチオン系乳剤の説明である
16	3	粘性土は石灰、砂質土はセメントが適する
17	2	突固め回数は50回
18	4	動的安定度(DS)は3,000回/mm以上
19	2	ダウエルバーには25の丸鋼を用いる
20	1	砕石マスタックは水密性に富む混合物
21	3	吸水率、すり減り減量は大きい。
22	1	粗骨材、細骨材の耐久性を評価する
23	4	仕上り厚さで20cm以下とする
24	4	サージピンは12時間以下の貯蔵に用いる
25	3	ダンブトラックによる運搬で約1時間以内
26	2	継目転圧、初転圧、二次転圧、仕上げ転圧
27	3	(1)乳剤の加温等 (2)標準で0.4 l/m ² (4)プライムコートの説明
28	3	水を用いず、軽油などを薄く塗布する
29	1	後期養生は初期養生より養生効果が大きい
30	4	(1)最も高い箇所 (2)粗粒度As混合物や (3)揮発分が蒸発するまで養生

問	解答	ポイント解説
31	3	(1)スクリードの振動 (2)敷均し厚は施工速度により変動 (4)防止まではできない
32	4	平坦仕上げを行う機械である
33	2	ひび割れ率、わだち掘れ量、平坦性で評価
34	2	記述は空隙詰まりの説明である
35	3	薄層オーバーレイ工法は機能的対策工法
36	1	記述は切削工法の説明である
37	4	道路管理者と警察署長との協議になる
38	3	共通仮設と専用仮設は直接仮設である
39	4	旧アスファルト量を含める
40	1	パス(経路)の説明が逆である
41	4	提出を求められた場合を除き、提出の必要はない
42	1	直接工事費の中の直接経費で計上
43	2	5%以内の勾配ですりつける
44	2	最大乾燥密度の93%以上
45	3	含水量試験。滴定法による定量試験はセメント量の試験
46	4	ラベリング試験の目的は耐摩耗性の確認
47	1	作業標準は受注者が定める
48	2	受注者が定める
49	1	路床の出来形検査項目に厚さはない
50	4	原則として抜き取り検査による
51	3	FWDは舗装のたわみを測定する試験装置
52	2	切り取りコアによる密度測定により求める
53	4	労働契約において明示する事項の1つ
54	2	常時50人以上の労働者を使用する事業場
55	3	下請代金総額が3,000万円以上になる場合
56	1	この場合でも道路占用許可が必要である
57	3	市町村長に届けなければならない
58	2	(1)1日以内 (3)騒音規制法 (4)1日以内
59	1	200t以上の加熱アスファルト混合物
60	4	建設業に係る木くずは産業廃棄物

